

長崎県基幹種雄牛の枝肉成績

昨年度2月に一度ご紹介した、長崎県で現在繋養中の基幹種雄牛の枝肉成績について、直近のデータに更新しましたので報告いたします。

(一代祖別にみた去勢肥育牛で100頭以上の出荷があったもの)

気高系の「金太郎3」は、枝肉重量が538.9 kgと引き続き群を抜く成績となっています。また、同系統の「勝乃幸」も前回と同様、枝肉重量を除くすべての項目において最高値を示し、BMS. No. は9.0からさらに0.2ポイント上昇し、驚異の9.2を記録しました。

但馬系の「弁慶3」は前回から400頭超の出荷がありましたが、枝肉重量519.7 kg(前回比+9.2 kg)、ロース芯面積65.4 cm²(+1.0 cm²)、BMS.No. 8.1(+0.1ポイント)と成績が向上しております。

長崎県ではその他にも別紙のとおり気高、糸桜および但馬の3系統ごとに能力の高い種雄牛を造成しておりますので、是非、ご活用ください。

種雄牛別の枝肉成績(去勢の平均値)

種雄牛 (一代祖)	頭数	月齢	枝肉重量 (kg)	ロース (cm ²)	ばら厚 (cm)	皮下脂肪 (cm)	歩留 基準値	BMS. No.
金太郎3	8,172	29.0	538.9	62.1	8.6	2.7	74.1	7.4
勝乃幸	1,684	29.1	496.6	68.7	8.7	2.3	75.9	9.2
百合幸	1,278	29.1	517.5	66.3	8.4	2.4	75.0	7.8
弁慶3	559	29.2	519.7	65.4	8.7	3.1	74.4	8.1
花勝国	281	28.9	498.0	59.0	8.2	2.4	74.1	7.5
参考：全頭	59,906	29.0	501.2	60.7	8.1	2.6	74.1	7.1

肉用牛改良センター調べ(対象期間：H26.4.1～R3.2.1)